

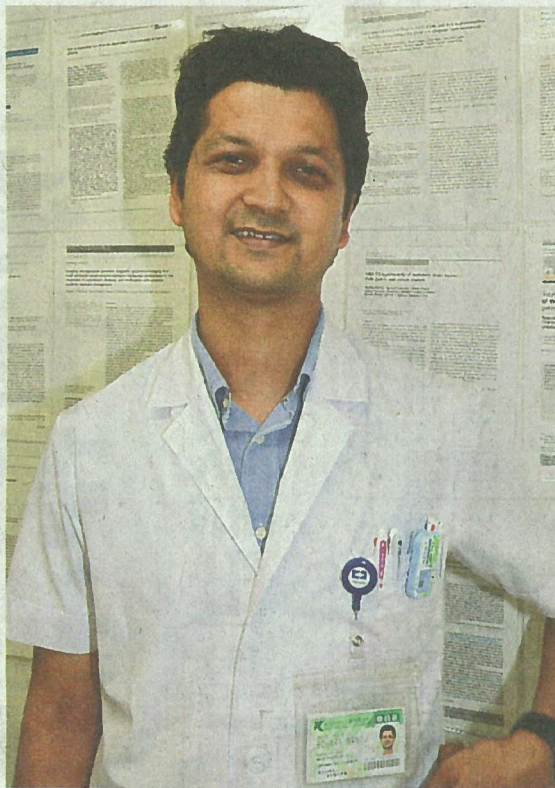
ネパールでは約40人しかいない脳外科医の一人で、2014年に鹿児島大学医歯学総合研究科で博士号を取得し、特任研究員を務める。今年4月下旬に母国で発生した大地震の医療支援のため一時帰国する傍ら、鹿児島でほかの留学生らと義援金を募った。7月末の帰国後は医療、災害支援、交流など両国の懸け橋になる、と決意した。

物心ついた時から、医師になりたかった。高校生の時は国内の脳外科医は1人か2人で、患者は首都・カトマンズに行か

日本とネパールの懸け橋となる脳外科医

かお

マノズ・ボハラさん



ければならなかった。「もっと多くの脳外科医が必要だ」と心を決めた。

医師免許取得後、ネパールの脳外科医療を長年支援する鹿大大学院の教授を紹介されて留学。多くの手術を見ながら最新の医療を学び、研究に励

んだ。大学院卒業式では総代に選ばれ、「ネパールでは研究の経験がなかったが、臨床と併せて頑張ったことを評価いただきありがとうございます」。9月に帰国する妻のプラサンナさん(31)も、ネパールで数人という女性脳外科医で、3月に鹿大大学院で博士号を取得した。

歌やダンスが好きで、坂本九さんの歌「上を向いて歩こう」とマイケル・ジャクソンさんのダンスは、さまざまなイベントで披露した。もうすぐ大好きな黒豚のしゃぶしゃぶが食べられなくなる。と残念がる。31歳。

(川畑美佳)